

かねてから私は、経済学、あるいは市場原理に疑問を抱いていました。古来より、天候に恵まれ、五穀豊穡を願うのが人々の常でありましたが、現代では、豊作すぎると農作物の価格が下がり、せっかく苦労して育てた作物を廃棄している農家の姿が見られます。また、業績が好調な会社に対しては銀行を始め、株などの投資家によってお金が集まってくるのですが、少し売り上げが落ちて、その会社にお金を借りる必要が出てくると、銀行も投資家もそろってお金を回収し始めるというこの有り様。人の身体で例えると、お金は血液であり、銀行は心臓の役割であると思うのですが、ケガをした細胞が新陳代謝を高める為、血液を多く必要としている時に、血液を止めてしまう。それが今の銀行であり今の経済観念であります。

この現状を憂いている時に、テレビで宇沢弘文という経済学者の存在を知り、彼の著書『経済学は人びとを幸福にできるのか』を読みました。

高名な経済学者による、経済学が人々を幸福にできるのか、という問いかけ。これほどインパクトのある言葉がありましようか。彼の結論は、経済の緻密な数字には、人々の心が反映されていないということでした。

まさに、私の言いたかったことと同じで、経済や法律は人を幸せにするための一つの道具でしかないのに、経済や法が人々を支配し、人々を苦しめる方向に向かってしまっている気がするのです。人と人の繋がりや情も関係なく、ただ数字が世界を支配する。そのまた彼が本の中で、教育の大切さを多く説いています。彼の尊敬する教育者は、哲学者でもあった、ジョン・デューイであります。デューイの教育理念は、家庭、あるいは地域社会という狭い場に育った子どもたちが、教室という広い場で、一緒に遊び、学ぶことで、社会的存在としての1人の人間に成長するのを助ける、というもの。また、子どもたちは一人ひとり違った能力を持って生まれていて、それぞれ違った分野で優れた能力を発揮するようにサポートをする、というもので、決して点数を付けて、他との比較をしない、というものでした。

デューイは二十世紀前半のアメリカの教育に大きな影響を与えた人物ですが、咸臨丸でアメリカに渡った福沢諭吉にもその精神が受け継がれ、諭吉が設立した慶應義塾の教育理念の礎となっています。健全な社会や経済の形成には、健全な教育が礎となっているんですね。

明正も個の能力を育み、大切にしながら生徒を教育する場とならなければ、と決意を新たにしました。



連絡事項

漢検 検定日◆1月31日(土)

10:00～、14:00～

英検 検定日◆1月25日(日)

準2・4級 10:00～、3・5級 13:30～

2級 14:30～

しっかり勉強をしてから
検定に臨みましょう！
申し込みだけして受け
来るのを忘れないように
気を付けること！！